

帝京大学ちば総合医療センター移転に伴う

新たな病院の整備!?

市原市議会議員 **ますも誠二**



帝京大学ちば総合医療センター

帝京大学ちば総合医療センターの移転が決まった事による市民への影響について問う。

現在、市が無償譲渡した同センターが所有する土地の方向性は不明。病院を壊して新たに立て直すなど、何年かかるかわからない未知の話。市民の命と健康を守るためには一刻も早く新たな病院の整備を考えるべきだ。市内の医療空洞化は避けなければならぬ。同センター周辺地区には、**公共用地である姉崎公園が存在する。市場調査に基づ**

増茂 誠二 代表質問要旨 (令和6年2月22日)

く公募により、医療法人に手をあげてもらおう以外ない。

一方、懸念材料として、全国病院調査によると**72.8%**の病院が**赤字**であり、特に**公立病院の生き残りは厳しい。**

仮に、**公募しても、不調に終わる可能性も高い。**その場合、いよいよ、市立病院としての医療整備も考えざるを得ないのではないか。今後、市民の命を守るため腹を決めなければならぬ時もあるはずだ。いずれにせよ、新しい医療体制の整備は待つてくれない現実が突きつけられている。市の見解を求める。

長谷川保健福祉部長答弁

市では、帝京大学ちば総合医療センターの移転後、地域の皆さまの安心、安全に対する期待に応えるため、**市西部地区に新たな病院を、設置ないしは誘致する考えであり、**開設までの空白期間を最小限



ますも誠二 月刊広報誌

ひまつぶし

Vol.104

とするため、**公共用地を活用した病院整備について検討したい。**

増茂 誠二 考察

今年の小出市長の施政方針では、**変動性や複雑性**といったこれまでの「常識が通用しない予測がつかない時代背景」と強調している。また、災害対策も含め、**かつてないリスクマネジメント**を全庁的に共有している。小出市長就任から3期、貫して最重要視している事は市民の命を守る事だ。

帝京大学ちば総合医療センターの北部(ちはら台)移転は、市内の医療の不均衡と市民の混乱を生じさせるだけでなく、地域公共交通の減便と相まって、通院できなくなる市民はさらに増え、健康被害になり得る事は明らかだ。私はこの問題に対し、医療従事者として責任を持って強い姿勢で取り組む。

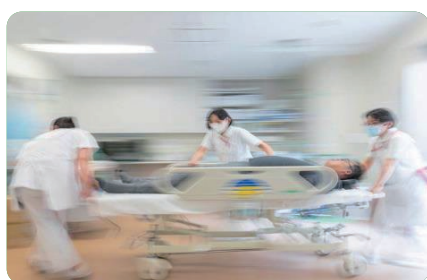


いつでも! いつでも! 深夜でも!

24時間 365日

市政・救急・緊急相談対応します!

連絡先: 080-1213-7679



私が新しい医療機関として提言している姉崎公園(公共用地)



年齢を重ねると、手術する時もあるかもしれませんが、その手術をする時に使う麻酔とは何か……



これだけたくさんの薬が体内に入るという事は、当然リスクがあるという事を忘れてはいけません。

全身麻酔と聞くと「怖いし不安」ですよ。

私自身、全身麻酔の経験がないので説得力はありませんが、順天堂大学病院で7年間手術室で見てきた研修では、全身麻酔が開始され、点滴さ

れているところから薬が入った時点で、スッと意識を失い、術後目覚めた時、誰もが手術中の事も痛みも覚えていないのは共通していました。もしこれから手術を受ける方はどうか安心して臨んで下さい。

開催予定日 **3月16日(土)**
 場所 **辰巳公民館** 時間 **16:00~18:00**
 料金 **子ども100円 大人200円**
 予約制となります 連絡先:090-6031-8494(タリミ)

★会食会を始めました!
★なんでも相談はじめました!

今月は麻酔のお話です。先日、私の父も全身麻酔による手術を受け、今では元気に生活しています。昨今、消化器の手術では、お腹を開く事も少なくなり、腹腔鏡的手術により、リスクを減らす、傷も少なく済むようになってきました。

その名も**華岡青洲**という人物(紀伊の国・現和歌山県)当時、どんなに小さな手術でも、痛みを和らげることはできませんでした。

現在の全身麻酔を行う場合、麻酔科医の徹底した管理下で、しっかりと**気道確保**し、もちろん**人工呼吸をし**、点滴をしながらから循環補助(**血圧を維持する事**)など、生命を維持するための全身管理が必須となっています。

今から170年前の江戸時代後期、世界で初めて全身麻酔(患者を眠らせ痛みも取る方法)で手術を成功させた医師がいます。

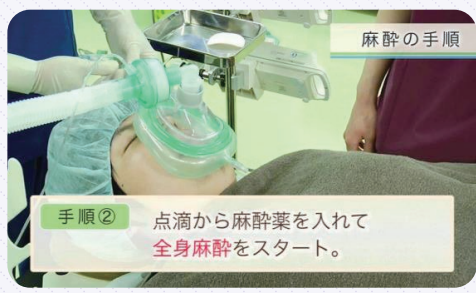
青洲は古くから中国で鎮痛剤として用いられた**マンダラゲ**(チヨウセンアサガオ)や**烏頭**(ウズリカブト)に最も麻酔の可能性があることを知り、徹底的に研究したそうです。その研究背景は

壮絶なもので、治験のため、最愛の妻に麻酔薬を投与したところ、妻の両眼は失明してしまっただけです。



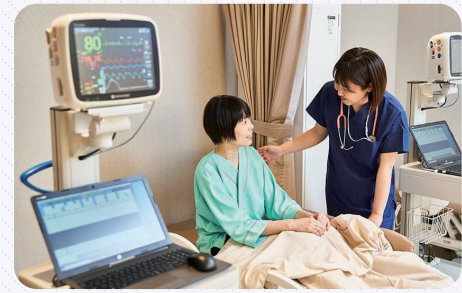
乳がん全摘手術を行った華岡青洲

その苦勞も美り、青洲



手術中は起きる事はありません。記憶もありません。

また、全身麻酔薬は鎮痛作用がとて弱いため、麻酔を行う場合は、**全身麻酔薬と鎮痛薬(局所麻酔薬)を併せて使用**しているのです。さらには、手術中、患者を動かさないため**筋弛緩薬も使用**されます。



目覚めると、手術は終わっています。手術によっては痛みがあるかも知れません。

ますも誠二プロフィール 氏名 増茂 誠二 生年月日 昭和42年12月1日

職業歴 市原市議会議員(市原市地域保健医療協議会副会長) 国士館大学 防災・救助救急総合研究所 嘱託研究員 学校法人 国際医療福祉専門学校 理事長補佐 杏林大学保健学部非常勤講師、千葉市医師会非常勤講師 救急救命士 危機管理士 修士(救急救命学)

資格・学位 国士館大学大学院救急救命システム科修士課程卒業 千葉大学大学院環境生命医学博士課程単位取得満期退学 千葉県パワースポーツ協会会長、市原市剣道連盟顧問(剣道教士七段)

ホームページはこちら